

平成 27 年度

日本産業衛生学会東海地方会学会

日 時 平成 27 年 11 月 14 日(土) 9:30～16:30

会 場 名古屋大学 医学部 基礎研究棟 3・4階

学会長 榊原 久孝

(名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻 教授)



日本産業衛生学会東海地方会

《参加者の皆様へ》

- 受付は、当日9時より名古屋大学 医学部 基礎研究棟（鶴舞キャンパス）の3階で行います。
- 参加申込票を提出の上、参加費をお支払下さい。
- 参加費は、会員1,000円、非会員2,000円、学部学生は無料(学生証をご提示下さい)となっています。
- 会場内は飲食禁止となっておりますので、昼食は近隣の飲食店をご利用下さい。

《一般演題の座長および発表者の方へ》

- 発表時間は、1題につき12分(発表8分、討議4分)です。時間厳守をお願いします。7分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴を鳴らします。各セッションでの開始、進行は座長にお任せいたします。
- 次座長席、次演者席を会場の前部に設けます。直前の発表が始まりましたら、ご着席下さい。
- 一般演題の座長の先生方は、受付でお申し出いただくとともに、各セッションの開始10分前までには会場にお越し下さい。

《産業医単位認定をご希望の方へ》

- 単位認定の対象は、午後の特別講演とシンポジウムです。
「日本医師会認定産業医研修会」・・・3単位
- 単位の認定は、午後のすべてのプログラム終了後となります。
午後のすべてのプログラム終了後、受付へ単位引換証をご持参下さい。
途中でお帰りの場合は、単位取得ができませんのでご了承下さい。

平成27年度 日本産業衛生学会東海地方会学会 事務局

〒464-8662

名古屋市千種区星が丘元町17番3号

椋山女学園大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学内

TEL 052-781-9268 FAX 052-781-9268

E-mail saneichi2015@gmail.com

平成 27 年度 日本産業衛生学会東海地方会学会 プログラム

午前の部: (基礎研究棟 3 階 第 1 講義室、第 2 講義室)

9:30～12:10 一般演題

第 1 会場 (第 1 講義室) 演題番号 101～113

第 2 会場 (第 2 講義室) 演題番号 201～212

午後の部: (基礎研究棟 4 階 第 4 講義室)

13:10～13:15 地方会長挨拶 柴田 英治 (愛知医科大学 医学部 衛生学 教授)

13:15～13:20 学会長挨拶 榊原 久孝 (名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻 教授)

13:20～14:20 特別講演「職場におけるメンタルヘルス対策」

演者: 堤 明純 (北里大学 医学部 公衆衛生学 教授)

座長: 榊原 久孝 (名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻 教授)

14:20～14:30 休憩

14:30～16:30 シンポジウム「職場でのメンタルヘルス対策の取り組み」

座長: 西谷 直子 (椋山女学園大学 看護学部 教授)

渡井 いずみ (名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻 准教授)

「職場でのメンタルヘルス対策の実状と課題 ～産業医の立場から～」

石川 浩二 (三菱重工(株)大江西・飛島健康管理科 産業医)

「メンタルヘルス対策における保健指導の取り組み ～保健師の立場から～」

川崎 ゆりか (日本車輛製造(株) 安全衛生環境部 保健師)

「職場におけるメンタルヘルス対策の取り組み ～企業主の立場から～」

根岸 茂登美 (藤沢タクシー(株) 代表取締役社長 博士(看護学))

16:30～ 閉会挨拶

単位認定: 午後の特別講演及びシンポジウムが対象となります。

【日本医師会認定産業医研修会】・・・・・・・・・・3 単位

一般演題 第1会場 (第1講義室)

9:30~10:30 座長 杉本日出子 (株式会社 ジェイテクト)

101 産業看護活動における困難とその関連要因

○望月友美子、西川浩昭 (静岡県立大学看護学部)

102 従業員の自主的な職場活性活動への産業保健職の支援

—健康度調査活用の可能性—

○澤田真美¹、岡本和士²、高山光尚³

(¹株式会社アドヴィックス、²愛知県立大学、³国立健康・栄養研究所)

103 健康診断前の保健指導が健康診断の結果に及ぼす影響

—実施群と未実施群における比較検討—

○山瀬ちさと、濱田静江、佐藤恵、川越隆 (住友理工株式会社)

104 中小企業における健康管理サポート実践報告

—開業保健師で支援する視点から—

○水越真代 (エルイーシー合同会社)

105 ヤマハグループ企業における常勤産業保健スタッフのいない分散型事業所での健康診断事後措置(就業区分判定)の試み 第2報

○山本誠、上原明彦 (ヤマハ健康管理センター)

10:30~11:18 座長 渡邊美寿津 (トヨタ自動車 株式会社)

106 がんの既往歴を有する就労者の主観的健康感及び心理社会的状況 (生活習慣等に関するアンケートから)

○加藤善士¹、八谷寛¹、太田充彦¹、李媛英¹、藤澤明子¹、松永真章¹、内藤久雄¹、
平川仁尚²、江啓発²、豊嶋英明³、玉腰浩司⁴、青山温子²

(¹藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学、²名古屋大学大学院医学系研究科国際保健・
公衆衛生学、³安城厚生病院、⁴名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)

107 夕食の時間とメンタルヘルスの関連

○中村美詠子、柴田陽介、岡田栄作、尾島俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座)

108 労働者の雇用形態と職業性ストレスとの関連

○片倉和子¹、榊原久孝²

(¹中京学院大学看護学部、²名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)

109 ストレスチェック制度に対する事業場の準備状況

○齊藤政彦（大同特殊鋼株式会社）

11:18~12:06 座長 八谷寛（藤田保健衛生大学医学部 公衆衛生学）

110 職場にて2度の心肺蘇生を経て職場復帰をした1例

○石川浩二¹、市丸麻衣子¹、仁瓶基樹²

（¹三菱重工(株)飛鳥健康管理科、²三菱重工(株)大江健康管理科）

111 職場における転倒労働災害のリスク要因に関する調査研究

○塚田月美¹、榊原久孝²

（¹名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程、²名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻）

112 特定保健指導におけるアルコール使用障害スクリーニング(AUDIT)の活用

～誰に AUDIT 調査を行うか～

○守田祐作¹、田中完²、豊田桃子¹、波多野直美¹、新海知恵¹、大石充宏¹、
壁屋康洋³、武藤岳夫⁴、杠岳文⁴

（¹新日鐵住金(株)名古屋製鐵所、²新日鐵住金(株)鹿島製鐵所、
³国立病院機構榊原病院、⁴国立病院機構肥前精神医療センター）

113 健康診断の随時尿を用いた食塩摂取量の推計

○尾島俊之、中村美詠子、柴田陽介、岡田栄作（浜松医科大学健康社会医学講座）

一般演題 第2会場 (第2講義室)

9:30~10:18 座長 上島通浩 (名古屋市立大学大学院医学研究科 環境労働衛生学)

201 Heavy metals-mediated health risk for disorder of skin pigmentation

○Zou Cunchao¹、矢嶋伊知朗¹、Nazmul Ahsan²、Anwarul Azim Akhand²、加藤昌志¹
(¹名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学、²ダッカ大学)

202 トリクロロエチレン曝露量とHLA遺伝型に対する皮膚過敏症への影響

○山ノ下理¹、上島通浩²、王海蘭³、伊藤由紀²、内藤久雄⁴、那須民江¹
(¹中部大学生命健康科学部、²名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学、³広東省職業病防治院、⁴藤田保健衛生大学公衆衛生学)

203 ヒ素の職業曝露と難聴リスクの可能性

○李香、大神信孝、加藤昌志 (名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学)

204 有機リン系殺虫剤分解酵素活性と尿中代謝物の関連

○佐藤博貴¹、伊藤由紀¹、上山純²、加納裕也¹、荒川朋弥¹、五藤雅博¹、近藤高明²、杉浦友香²、斎藤勲⁴、柴田英治³、上島通浩¹
(¹名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学、²名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学、³愛知医科大学医学部衛生学、⁴東海コープ検査センター)

10:18~11:06 座長 久永直見 (愛知学泉大学 家政学部)

205 トリクロロエチレンによるHypersensitivity

—15年間の日中共同研究による患者の曝露濃度推移の考察—

○那須民江¹、王棟²、王海蘭³、山ノ下理¹、伊藤由紀⁴、内藤久雄⁵、上島通浩⁴
(¹中部大学、²名古屋大学、³広東省職業病防治院、⁴名古屋市立大学、⁵藤田保健衛生大学)

206 ヒ素とクロムの複合曝露に伴う肺癌発症のリスク評価

○大塚智美、吉永雅史、矢嶋伊知朗、大神信孝、加藤昌志
(名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学)

207 インジウム曝露ラット肺におけるマイクロRNA発現の解析と標的遺伝子の探索

○平工雄介¹、黒澤長之²、田中昭代³、平田美由紀³、村田真理子¹
(¹三重大学大学院医学系研究科環境分子医学分野、²三重大学医学部、³九州大学大学院医学研究院環境医学分野)

208 バイオモニタリング手法を用いたネオニコチノイド系殺虫剤の曝露評価

○上山純¹、末永隆次郎²、永美大志³、夏川周介³、柴田英治⁴、近藤高明¹、
上島通浩⁵、斎藤勲⁶

(¹名古屋大学、²久留米大学、³佐久総合病院、⁴愛知医科大学、⁵名古屋市立大学、
東海コープ)

11:06~11:54 座長 平工雄介 (三重大学大学院医学系研究科環境分子医学)

209 既存建物改修工事で作業者と建物利用者の有機溶剤ガス曝露が問題となった3例

○榊原洋子¹、久永直見²

(¹愛知教育大学、²愛知学泉大学)

210 胸部X線写真に胸膜肥厚斑を認めない建築業従事者における胸部CT上の胸膜肥厚斑有所見率

○久永直見¹、柴田英治²、酒井潔³、鈴木隆佳²、内藤久雄⁴、上島通浩⁵

(¹愛知学泉大学、²愛知医科大学、³名古屋市衛研、⁴藤田保健衛生大学、
⁵名古屋市立大学)

211 労働環境下の紫外線曝露によって誘発される免疫抑制の評価法の検討

○長谷川まり、中野千尋、飯田真智子、加藤昌志 (名古屋大学大学院医学系研究科
環境労働衛生学)

212 液晶モニタのバックライトとVDT作業

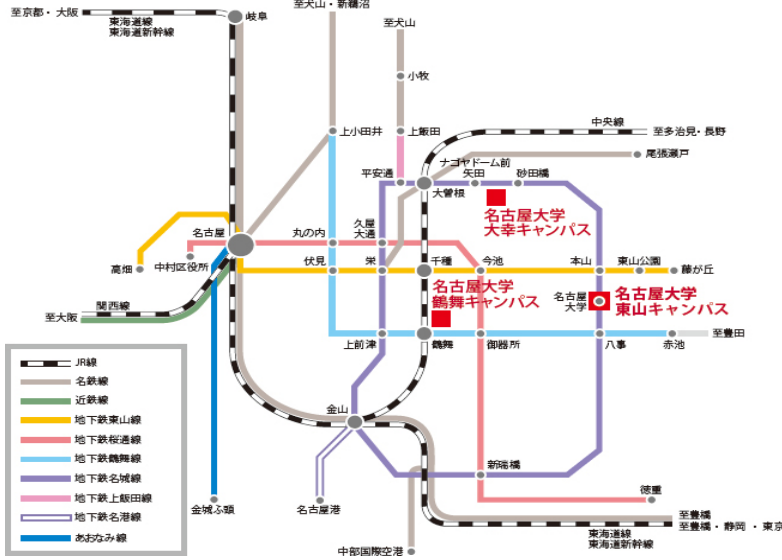
—ブルーライトの測定と視覚実験—

○吉村公美子¹、榊原久孝¹、池田充¹、柴田和宏²、玉村好識³

(¹名古屋大学、²豊田地域医療センター、³鶉飼病院)

会場への交通案内図

名古屋大学 医学部 (鶴舞キャンパス)



● 所在地

医学部、医学系研究科

住所: 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

TEL: (052) 741-2111

FAX: (052) 744-2428

HP: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/>

● 交通

1. JR中央本線「鶴舞駅」(名大病院口側)下車 徒歩3分
2. 地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車 徒歩8分
3. 市バス「栄」から栄18系統「妙見町」行き 「名大病院」下車

会場案内図

名古屋大学 医学部(鶴舞キャンパス) 基礎研究棟

